



中北マナーキャラクター
中北みどりちゃん



本年、弊社は創業 300 周年を迎えます。人生においてもさまざまな節目の年があります。今回は、年齢を重ねた人を祝福する「長寿の祝い」についてご紹介をいたします。



長寿の祝いの歴史

古代中国の敬老思想と長寿を尊ぶ考えが起源とされています。奈良時代に日本へ伝わり、貴族の間で広まりました。当時は、平均年齢が 40 歳程度と短命だったため、40 歳になると一族が集まって祝宴を開き、その後も 10 年ごとに「年祝い」が行われました。平均寿命が 50 歳程度の江戸時代になると、庶民にも浸透し、数え年※で 60 歳の「還暦の祝い」が人生における最大行事として広まりました。

現在では、寿命が大幅に伸び、長寿の祝いは、満 60 歳の還暦からが一般的となり、100 歳を超える歳まで祝うようになりました。

※数え年：生まれた時点から1歳とし、その後、元日を迎えるたびに1歳ずつ年齢を加算していく数え方

祝いの種類と由来・テーマカラー



- 還暦（かんれき）61 歳（満 60 歳） ●赤
60 年で十干十二支（じっかんじゅうにし）が一巡して
もとの暦に還ることに由来
- 古希（こき）70 歳 ●紫
中国の詩人、杜甫の詩の一節「人生七十古来稀なり」に由来
- 喜寿（きじゅ）77 歳 ●紫
「喜」の略字が「喜」と七を重ねて見えることに由来
- 傘寿（さんじゅ）80 歳 ●金茶 ●黄色
「八十寿（やそじゅ）」とも言う。傘の字の略字「伞」が
八と十に見えることに由来
- 米寿（べいじゅ）88 歳 ●金茶 ●黄色
「米」の字が八十八に見えることに由来。
- 卒寿（そつじゅ）90 歳 ●紫 ○白
「卒」の字の略字「卒」が九十と見えることに由来
- 白寿（はくじゅ）99 歳 ○白
「百」の字から「一」を取ると「白」になることに由来
- 百寿（ももじゅ）100 歳 ○白 ●桃
100 歳の祝いの「百寿」は、「百歳」を「賀する」という意味
- 100 歳を超えたら・・・
108 歳の茶寿、111 歳の皇寿、120 歳の大選暦があります

祝いの品について

食事会など、家族や親しい人が集まりお祝いすることは心に深く刻まれる贈りものですね。祝いの品を贈る場合は、思い出として残るものを選び、「おめでとう」の気持ちを伝えることが大切です。

長寿祝いのテーマカラーを取り入れたスポーツシャツやセーター、マフラーやストールなどのアイテムはおすすめです。

但し、杖、ルーペ（拡大鏡）、補聴器のような老いを感じるもの、「縁を切る」を連想する刃物類、「時が尽きる」を連想する時計、「苦」「死」を連想する「櫛」「シクラメン」などは、避けるようにしましょう。

プレゼントには、感謝や尊敬の気持ちを込めたメッセージカードを添えてみてはいかがでしょうか。



参考文献：日本人のしきたり、日本人礼儀作法のしきたり
（著：飯倉晴武）

お祝いを迎える方がこの先も健康で幸せな人生を送れるように大切にお祝いしましょう！



マナーインストラクター部HPです。ぜひご覧ください。
<https://www.nakakita-manner.com/>

次回は4月発行予定です
お楽しみに♪

